

土地整理土木工事業における動作の反動無理な動作災害の死傷災害発生事例（2017年）

2017年発生月	時間	死傷災害発生事例	年齢	労働者規模
5	11~12	調整池間知ブロック裏込めコンクリートの型枠（鋼製）の脱型中、無理な姿勢で型枠を引き上げた時に腰の筋を伸ばした。	21~29	10
7	16~17	住職発注による墓地改良工事にともなうスロープ工事において、墓地内の坂道（傾斜角度20°）で型枠組立作業中、木枠（コンパネ、1.8m×90cm、重量5kg）5~6枚程度を自動車からおろして運搬中（距離5~6m）に体が横むきの状態でもち上げる際に腰に負担がかかり腰を負傷した。	64~9	1
7	17~18	現場にて駐車場造成作業のために法面、擁壁の掘削作業をしていた。狭い場所での作業だったため、機械が利用できず、スコップを使っての人力作業を行っていたところ、腰部から臀部にかけて激しい痛みが生じた。この日は終日、人力作業での労働であった。	49~29	10
12	9~10	寺の庭木剪定作業時に、切った葉を掃除しやすいように下にブルーシートを敷いて作業していた際、段差で足を挫いた。当初は捻挫だと思っていたが、痛みがひかないため病院を受診したところ、足の甲を骨折しており、松葉づえとなり、全治2カ月との診断を受けた。	57~9	1

出典：[https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen\\_pgm/SHISYO\\_FND.aspx](https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx)(職場のあんぜんサイト)

Return to : [https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206\\_09.html](https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_09.html)